

2006年度 ゆきとどいた教育をすすめる

全国3000万署名・推進ニュース NO.27

発行日:2006年12月8日 発行:全教・日高教・教組共闘

- 京都 - 58,804筆を府議会に提出

京教組は、12月6日、「京都府民会議」「公立高校30人学級をすすめる会」「障害児・者の生活と教育を豊かにする会」とともに、府内各地でとりくまれた教育請願署名を府議会に提出しました。

提出を前に、議会各会派への紹介議員要請行動、「署名集約・提出会議」などを行い、一連の行動には保護者、教職員ら約30人が参加しました。

議会各会派への要請行動では、日本共産党が紹介議員を快諾、他の自民、民主、新生会の会派は「紹介議員に出来ない」とゆきとどいた教育を求める府民の多数の声に背を向ける対応に終始しました。

提出会議では、署名数が「58,804筆」に到達したことを確認し、紹介議員の日本共産党府会議員団から激励と連帯のあいさつが行われました。また、30人学級や「一人ひとりのニーズに応じる教育」にむけた条件整備、養護教諭の正規の複数配置などのとりくみの交流も行われ、国会で重大局面をむかえた教基法闘争と一体に、引き続くたたかいの強化に向けて決意をあらたにしました。

京教組の到達数は昨年度の最終署名数の62.1%、京都府高は48.6%であり、早期に昨年度を上回ることをめざして、引き続き奮闘しています。

—山口— 県議会に125,959筆提出

山口県ゆきとどいた教育をすすめる会と山口県私学助成をすすめる会は、12月4日山口県議会に12万5955筆の署名を積み上げ要請を行いました。

ゆきとどいた教育をすすめる会の外山英昭代表は、「12万という署名数に示されるように、教育予算の拡充・「少人数学級」の拡大は父母・県民の切実な要求、中学校全学年と小学校1、2年生の35人以下学級実施では成果も出ている、いじめ問題の解決のためにも全ての学年での実現をお願いしたいとあいさつ。

私学助成をすすめる会の松倉正義会長は、経済状況の悪化は、教育環境にも多大な影響を及ぼし、子どもたちが安心してまなぶことが困難になっている。「教育費の負担は限界。公立の4倍もの学費の是正を」と述べ、私学助成の拡充を求めました。

要請署名を受け取った島田県議会議長は「思いは私も同じ。30人学級の要望は大切なことと受け止めている。公私格差の是正にも努力を払ってきたが、引き続き対処したい。みなさんの力と県議会の力を合わせたい。学校での努力もお願いしたい」と応えました。

国への署名提出まで、まだまだ奮闘しようと確認しました。



<訂正> - 富山 - 「富山高教組昨年度署名数の104.2%、公立全体でも105.5%」

推進ニュース26号で、富山高教組のとりくみを取り上げ、「昨年度署名数の194.1% 約2倍!」と紹介しましたが、富山高教組から報告の訂正の連絡がありました。富山高教組としての集約数は7,016筆、そして富山高教組・教組共闘・共同組織の公立の合計数が23,556筆とのことです。それで、「昨年度署名数の104.2%、公立全体でも105.5%」と訂正します。 それでもすごい、頑張っています!

現在の署名集約数 732万筆! 昨年の11月25日の集約集会で集約された署名数は、645万筆でした。今年度7日現在の署名集約数は、7,321,515筆です。11日の集約集会のステージで、昨年度の署名数を上回る署名数を報告できるように、この土・日曜日、もう一回り頑張しましょう!